



2014年1月7日

**生産性と縫製品質を向上  
高速電子眠り穴かがりミシン「LBH-1790Aシリーズ」発売**



JUKIは、「眠り穴かがり」の縫製サイクルタイムを短縮し、縫製品質を向上させた高速電子眠り穴かがりミシン「LBH-1790Aシリーズ」を国内は1月11日より発売します。

LBH-1790Aシリーズは、ワイシャツやニット素材などの比較的薄地のアパレル製品から、チャイルドシートなどのクッション素材まで、幅広い種類の「眠り穴かがり」を行うミシンです。起動ペダルを踏むと、穴かがりと穴開けカットをミシンが自動で行うサイクルミシンです。

当機は、全ての駆動機構をデジタル化しましたので、縫製サイクルのスピードが向上しました。特に「120mm サイズの押え」を使用した、ポロシャツやドレスシャツなどの2カ所連続穴かがりは、従来機と比較してサイクルタイムを約9%短縮しましたので、生産性が向上します。また、パネル操作で容易に穴開けスピードや押さえ圧のコントロール調整が可能になりましたので、素材に応じた制御ができ、縫製品質を安定させることができます。

また、模様設定を行うパネルをリニューアルさせ、従来はオプションパネルで用意していた、縫製データを入出力する「USBポート」や、14か国語の説明言語を標準装備しましたので、より操作性が向上します。

当社は、当機と併せて、本縫いボタン付けミシン(LK-1903B)を同時発売します。両機とも世界最高クラスの縫製速度に、品質・操作性を向上させた製品です。当社は、ボタンに係わる両製品シリーズで、販売を拡大してまいります。

## ◆特長

### ●高い生産性

- 業界トップクラスの最高縫い速度は4,200sti/min で空送り速度は200mm/sec に向上しました。連続縫いにおいて、サイクルタイムが更に向上しました。

### ●優れた作業性、操作性

- 全ての駆動機構をデジタル化しました。押え圧はパルスモータ駆動方式のデジタル制御化により、パネルで容易に押え圧設定ができ、再現性ある縫いパターンごとの管理が可能になりました。
- アーム顎部底面にLEDライトを標準装着しました。縫製作業の邪魔にならず、針元を均一に照らします。
- 標準パネルにUSBポートを装着しましたので、データの受け渡しが容易になりました。
- 縫製形状のイメージを表示する液晶画面を標準パネルに搭載しました。
- サイクル縫いは20種類のプログラムが登録でき、それぞれのプログラムで最大30パターンまで記憶できます。
- パルスモーターの採用により、穴開けカット時の音が静かになりました。

### ●省エネ

- 新型電装、エンコーダ制御などにより、従来機に対し約27%の省エネとなりました。

### ●メンテナンス性の向上

- 先進のドライ化技術により釜部以外は無給油。製品の油汚れを解消。
- 釜油量の調整は、釜フタカバーを開けて新設した「釜油量調整ねじ」で容易に調節できます。
- 釜油量タンクに油差し口を新設しましたので容易に注油が可能となりました。このオイルタンクに割れにくい材質を採用しましたので、誤って破損するようなトラブルが防げます。

◆発売日 海外:2013年12月、国内:2014年1月11日

### ◆希望小売価格【国内】頭部+電装【標準パネル付き】(消費税込)

● LBH-1790AS	高速電子眠り穴かがりミシン	787,500円
● LBH-1795AS	高速電子眠り穴かがりミシン(押え120mm仕様)	910,350円

#### ■当リリースに関する問合せ先

JUKI株式会社 縫製機器ユニット 事業企画部	石橋 信一	TEL:042-357-2375
JUKI株式会社 総務部 総務・広報グループ	林 桐子	TEL:042-357-2398